

巻頭言 最近、腸が騒がしい?岩手医科大学 阿部 貴弥 ...165

特集1 酸塩基平衡を理解する

序文日本医科大学 飯野 靖彦 ...173

【基礎】

酸とは何か：血液酸度の規定因子（重炭酸緩衝系か強イオン系か）

.....長崎県対馬病院 山内 美樹・他...174

食事からの酸負荷と腸管吸収徳島大学 藤井 理・他...179

代謝による酸負荷東京大学 菅原 真衣・他...184

輸液・注射薬・栄養製剤の酸含有量とその影響明治薬科大学 石橋 賢一 ...189

腎臓からの酸排泄北里大学 河原 克雅・他...195

肺からの酸排泄東京医科歯科大学 土屋 公威・他...201

【酸塩基平衡の読み方】

酸塩基平衡異常への Boston 学派式アプローチとその限界愛知医科大学 笠置 智道・他...207

Stewart 法的酸塩基平衡異常の解釈とその利点滋賀医科大学 杉本 俊郎・他...211

【臨床：酸塩基平衡異常の症状と管理】

血液 pH の変化による一般的症状と管理吉祥寺あさひ病院 安田 隆 ...219

急性腎障害 (AKI)岡山大学 日笠友起子・他...227

慢性腎臓病淀川キリスト教病院 富田 弘道 ...232

血液透析・腹膜透析昭和大学 保坂 望・他...237

糖尿病滋賀医科大学 宇津 貴 ...241

追悼記

北岡建樹先生を偲んで昭和大学 秋澤 忠男 ...166

連載：やさしい再生医療

臨床編 I 胚盤胞補完法を用いた腎臓再生東京慈恵会医科大学 田尻 進・他...168

バックナンバー171

告知板178, 245, 305, 348

投稿規定371

あとがき・次号予告372

特集2 500号記念：腎臓病診療の歴史と未来

Part 1 特別座談会 『腎と透析』 過去・現在・未来への歩み

…秋澤 忠男(司会)・杉野 信博・長澤 俊彦・酒井 紀・飯野 靖彦・高橋 公太 …247

Part 2 現編集委員・歴代編集委員からの特別寄稿 (氏名の五十音順掲載)

- 尿毒症からフリーラジカル研究への歩み……………青柳 一正 ……257
- ANCA 関連血管炎—歴史の変遷と今後の展望—……………有村 義宏 ……263
- 遺伝性腎疾患の病因・病態の解明：今後への期待……………五十嵐 隆 ……267
- 小児腎臓疾患への臨床試験の歴史と発展—日本小児腎臓病学会の挑戦—……………伊藤 秀一 ……274
- Microdissection の今昔……………遠藤 仁・他…279
- 汲めど尽きない腎細胞癌に対する研究・臨床の魅力……………大家 基嗣 ……283
- CKD-MBD の進歩……………小椋 陽介 ……285
- 腎尿細管の Ca 感知受容体：局在と機能……………河原 克雅・他…290
- IgA 腎症—最近の進歩……………川村 哲也 ……296
- 尿中バイオマーカー L-FABP—開発の経緯と今後の展望—……………木村健二郎 ……300
- 腎泌尿器外科における最近の進歩—腎癌と腎結石—……………小磯 謙吉 ……303
- 慢性腎臓病における心血管障害—この 10 年—……………小林 修三 ……306
- IgA 腎症の成因……………小山 哲夫 ……310
- 糸球体研究の歴史と展望……………坂井 建雄 ……313
- CKD かかりつけ医による透析患者の認知機能障害早期発見早期治療を目指して
- neuronal activity topography (NAT) による診断—……………佐中 孜 ……317
- 糖尿病および高血圧に基づく腎障害の進展阻止と血圧の管理……………猿田 享男 ……324
- パラフィン切片を用いた LC-MS/MS による腎病変の解析……………清水 章・他…327
- 腎アミロイドーシス……………高市 憲明 ……330
- 創刊当時の思い出および将来の透析医療……………高橋 進 ……333
- 日本における腎病理学の発展と展望……………長田 道夫 ……335
- 成人ネフローゼ症候群治療研究会発足当時の腎研究の状況について……………成田 光陽 ……338
- 血管石灰化に関する歴史と進歩……………新田 孝作 ……341
- 腎臓学を志す若い医師に託す……………二瓶 宏 ……346
- 小児末期腎不全診療の歩みと現況, そしてこれから……………服部 元史・伊藤 克己 ……349
- 高血圧の遺伝要因：ATP2B1 の意義……………平和 伸仁 ……353
- 腎と尿酸……………細谷 龍男 ……357
- 腎病理の今後の課題……………山口 裕 ……361
- ループス腎炎と抗リンパ球抗体……………山田 明 ……365
- 腎臓再生研究……………横尾 隆 ……368